

農業科3年生が幼稚園児に自然体験学習の指導をしました。

6月1日（水曜日）に、農業科3年生（作物専攻）の5名が、鉾田幼稚園の園児19名に自然体験学習の指導をしました。第1回は「サツマイモの苗の植え付け」を行いました。

この取り組みは、農作物の栽培、収穫を通して園児に農業の魅力を伝えとともに、園児を指導することで生徒が社会性を育むことを目的にして、鉾田第二高校と鉾田幼稚園が連携して毎年実施しています。

園児は9時45分にバスで農場に到着し、サツマイモ畑まで歩いて移動して、高校生に「よろしくお願いします」とあいさつをしました。

あいさつの後、農業科3年の大川皐月さんが「今日は、『紅はるか』という品種を植えてもらいます。高校生が、棒を使って、黒いビニールの上から斜めに穴をあけます。その穴に苗を1本ずつしっかりと差してください。次に、苗が動かないように、ビニールの上から土を押さえてください」とお手本を見せて園児に説明しました。

説明の後、園児たちは、高校生から苗を受け取って畑に並びました。そして、高校生が園児を指導して、苗を1本ずついねいに植え付けました。高校生から「上手にできたね」と声をかけられると園児たちは笑顔を見せていました。

サツマイモの植え付けを終えた園児たちは「土がふわふわでやわらかかった」「苗を植えて楽しかった」「大きくなってほしい」などの感想を話してくれました。

植え付け後、大川さんが、園児たちに「隣の畑のこの紫色の花が咲いている野菜は何でしょうか」と質問し、園児たちが「おいも～」と答えてくれました。「何という名前のおいもでしょうか」と聞き返したら「ジャガイモ!」とみんなで元気よく答えてくれました。

その後、園児たちは、温室で栽培しているメロンとキュウリの観察、肉牛の餌やりをしました。

サツマイモの苗を植え付ける前は、不安そうな表情をしていた園児もいましたが、約1時間の滞在を終えて、おわりのあいさつでは、園児全員が笑顔で「ありがとうございました」と元気よくお礼を言って、帰路に着きました。

農業科3年の大川皐月さんは「今日の体験が園児の楽しい思い出となって、この先、農業について興味をもってくれたらうれしく思います。わたしたちも高校時代のよい思い出となりました」と話してくれました。

鉾田幼稚園の自然体験学習は、第2回が9月上旬にナシの収穫、第3回が10月中旬にブドウの収穫、第4回が10月下旬にサツマイモの収穫を予定しています。

1 高校生が苗の植え方を説明



2 「わかった人」「は～い」と手を上げる園児



3 園児に苗を手渡す高校生



4 ビニール（マルチ）に穴をあける高校生



5 苗を植え付ける園児



6 土をおさえる園児



7 植え付けのようす



8 高校生と園児で記念撮影



9 メロンの栽培温室（イバラキングを栽培）



10 メロンのトンネル



11 小さなメロンを発見



12 7月下旬頃に収穫予定



13 キュウリの栽培温室（水耕栽培）



14 キュウリの葉などを観察しました



15 肉牛の見学（４頭飼育しています）



16 園児にわらを手渡す高校生



17 餌やりを体験



18 餌やりを体験



19 おわりのあいさつ



20 園児は、バスで帰路につきました

